



発行所 東京片貝会 東京都江東区高橋5-1-313 電話 (632) 0156

辰どしの春を祝う

新年会にご出席ください

昭和63年1月31日(日) 東京新潟県人会館にて

63年の新春を迎え、皆様にはお変わりありませんか。東京片貝会は明年、30周年を迎えようとしています。この時にあたり会友が一堂に会して、会の益々の発展と、互いの多幸を祈り、それが一層の友情を深めることになるならば、ほんとうに嬉しいことです。どうぞ、お出でになって下さい。今回も皆様から持ちよりのお年玉を、ご寄贈いただいで、福引をやりたいと思います。恐縮ですが、当日お持ち下さいますよう、お願い致します。返信はがきにお書き添えいただければ幸いです。

- 一、日時 63年1月31日(日)午後一時(正午より受付)
一、会場 東京新潟県人会館(台東区上野1丁目13-16)
(銀座線、JR「御徒町」七分)
一、会費 五〇〇〇円(料理・飲み物・果物・福引)
返信は一月二十日までに到着するようお送り下さい。

同級会便り

揚げたぞ、喜寿の花火を 恐らくこれが最後の同級会になるであろう、という思いが昔ながらあつて、秋田から、東京から、

県内から約三千名集った。 尺玉十発と七寸で七十七歳の祝いの。十日の午後屋の花火が、神社の神域にこだました。 十一日は福寿荘で、亡き友の冥福を祈り、互いの長寿を祝った。

来年は古稀 来年古稀を迎えるので、その準備をするべく、計画が話し合われている。近く具体化されよう。 昭六会

片貝会の動き

第28回総会 5月24日 2面参照 東京新潟県人会館 役員会 8月30日 30周年記念行事計画について 会員名簿の改訂発行(63年) そのほか、会の三十年史を作つては、当日の式典について、講演会などいろいろ意見が出た。 30周年は昭和64年あたり、それまでに具体案を煮つめる予定 ・新しく発行予定の名簿は、一年早い、記念行事の一貫とし、会員にあげる、などを決定。(秀和会館にて) 母校を励ます会、 記念講演会 10月28日 3面参照 片貝中体育館 中学校創立40周年に寄付 今秋創立40周年を迎えたので、同窓会が中心になって、卒業生に協力を呼びかけていたが、10月28日



町を流し踊る前夜祭の人々

秋祭りは年々盛大に 四尺玉は九日と十日の十時に二発揚がった。テレビ局の取材も盛んで、近年にない賑わいだっ

に校旗が寄贈された。 校旗は創立当時、新野武氏から寄贈されたものがあつたが、いたみが甚しくなつたので、今回新調された。県下でも、これほど立派なものはあるまい、と自慢できるほどの出来栄。 東京片貝会から、これに賛同して、乏しい会計の中から、十万円を寄贈した。ご了承下さい。 新しい名簿の発行 昭和55年6月に改訂発行された名簿も、約8年を経過して、異動もかなりの数になつたので、一年早い、会の四十周年記念事業のひとつとして発行される。 新年会に出席される全員に、お渡し致します。 長い間、会報の標題の文字はどなたの筆になるものか分らなかつたが、

人の動き

黒崎正さん重役に昇任 副会長、黒崎正さん(昭22)は、四月一日付で、湯浅商事KKの重役に昇任された。 湯浅商事は、一部上場の会社で建築関連の事業が主力となっている。日頃の研鑽が実つて、大会社のトップになられたことは、本人は忽論、会としても大喜ばしいできごとであつた。 相崎尚次さん夫人逝去 前副会長、現理事の相崎尚次さんの夫人マサさんは、かねて療養中であつたが逝去された。6月27日に告別式。ご冥福を祈ります。

会員だより

丸山フジさん(昭43) ご遺族より 永い間お世話になりましたが、この3月27日93歳で永眠しました些少ですが、送金いたします。 安達市郎さん(天?) 87歳となり、足腰も弱くなつて総会も欠席します。よろしく。 広川久美子さん(昭12) 四月は奥湯河原で大変お世話になりました。常々のお骨折りがあつたこと、片貝会のこと、 石橋 孝さん(昭21) 27年に東京へ、片貝会のこと

知りませんでした。お電話します。 佐藤キイさん(昭26) 会報ありがとう。忘れがちな片貝を友達を、思い出しています。 大塚 清さん(昭29) 故郷の変わりゆく様を頭に浮かべ子供の頃をなつかしんでいます。 山口計子さん(昭30) 会報いつも楽しみにしています。 内藤富美子さん(昭43) 片貝は幾つになつても想い出多き町です。余暇ができたら出席を 書道展、黒崎敏五郎さん(昭6) 本年も多くの意欲的な作品を上野美術館、銀座などで発表された。

郷里のお客様と

膝を交えて
和やかに

懇親総会

5月24日 東京新潟県人会館

五月の末にしては、肌寒い曇り空だった。午後一時に黒崎正さんの司会で開会した。

まず相崎勇次さんが、遠来の来賓に謝意を表すると共に、郷里の近況が聞けるのが楽しみ、片貝会の三十年は盛大に開きたい、と開会の挨拶。続いて勝又会長より最近逝くなられた会員丸山フジ(93歳)・松井重治、顧問広井三代次三氏に対して黙祷。又ご案内した中に、病気で出席できなかった七名の方が、一日も早い全快を祈念された。

つきに会計報告と監査状況を説明して、承認を得た。続いて佐藤前会長より、小中校へ図書代金の贈呈、再び会長が登壇して、三十周年記念事業については、実行委員会を作る、その人選は一任されたい。又新名簿を来春に発行したい。その資金の一部として広告をお願いしたいので、よろしくと呼びかけがあった。

次に来賓から別掲のような祝辞があった後、浄照寺・丸山良平・本田善治三氏よりの祝電披露。相崎勇次郎さんが最後に、新顔が少くなってきた、みんなで呼びかけあって、もっと盛会にしようと呼びかけて、総会をしめくつた。

懇親会は、相崎尚次さんの乾杯で開幕。——楽しい語らいは、尽きることなく続いた。しやぎりの演奏、木遣り音頭の大合唱は、片貝の集いの象徴である。進行の松井利夫さんのリードで、歌がつきつきと出て大変な賑わいとなる。かくて、五時近く、万才と共に閉会となった。

来賓のことは
片貝協議会長
(吉田一雄氏)
。統一地方選挙が終了した。魚沼線跡地のパイパス工事が今年から始まる。

。酒屋川上流の砂防ダム工事。
。寺町から八島へ下る道路が近くできる。
。池津に消雪パイプ工事
。小学校改築工事開始(三か年農協組会長(本田初太郎氏)ふるさとを愛ぬるところに、よさがあると思うが、山河も大分変わってきた。今片貝の米は、一万俵分が休んでいる。農協は明るい家庭・健康な体づくりをモットーとして、町に尽くしていきたい。
。本田善治氏が所用で欠席、六期24年間市議として支援いただいたことに感謝する、四尺玉は二発揚げたい、との伝言も披露された。
市議(小林光紀氏)
。小学校の改築工事が始まったが中学校は65年頃と思うが流動的。早期実現に努力したい。四市議一丸となって町政に尽します。
同窓会長(吉原芳郎氏)
。中学は四十周年を迎える。大がかりではなく、百五十万円の予算で。新校旗の樹立を計画中です。体育協会史を作るのに二年半かかった。不足の内容は今後補充していきたいと思えます。
小学校教頭(成田先生)
。校舎の改築は三年がかりで完成いつも物心両面にわたるご援助に感謝します。帰省の際は、ぜひご訪問下さい。



楽しく歓談する会員

中学校教諭(阿部先生)
創立記念行事の二市三郡の球技大会で三種目に優勝。又市内では五種目全部に優勝した。
校内暴力、苛めは全ありません。片貝会のご支援に感謝。生徒にも深い感銘を与えています。
出席された方々(62名)
◇来賓
祝辞をいただいた六名のほかに友田明石氏(同窓会役員)
◇会員
大正
山田セジ、吉原ヤウ、高野朝五郎
高桑キイ、吉原賢策、浅田兼次
佐藤量八、神林徳次、大矢福次
相崎尚次、安部盛治、安達宗吾
三重堀繁蔵
昭和21、10
芝 五郎、吉井武二、芝 三四司
相崎勇次、小宮竹次、相崎善次郎
本田政秀、芋川とし、早川松太郎
山口三郎、佐藤彦一、山口武一郎
黒崎孝造、吉原彦作、日下部政子
丸山 春、佐藤フミ、小野塚マツ
大矢幸治、藤塚勝次、黒崎米太郎
勝又 功、武藤睦子
昭和11、20

高橋四郎、松下利夫、山口吉五郎
浅田 猛、佐藤道雄、山田松次郎
吉原俊六、山田チエ、相崎ハツ
小宮良夫、横見きみ
昭和21、32
黒崎 正、山岸慶昭、五十嵐貞雄
吉原 宏、黒崎 勝、三重堀 清
諸我時夫、吉井信三
当日来賓各位より、又左記会員七名から、ご芳志をいただいた。
丸山貴司、安達宗吾、三重堀繁蔵
沓沢トモ、黒崎勇、藤塚栄三郎故
丸山フジ遺族、丸山幸三郎
大矢さんのお話を聞いて
大矢さんとはどんな人
あんなにお金を寄付して下さる人は、どんな人か、太って偉そうかな?と思っていた。だけど、全然違っていた。やさしいおじいちゃんという感じで、楽しそうに話すので、いい人だなと思いました。ろうそくの火で勉強するなんて、私にはとても考えられない。苦勞に負けず、たくさん読書のり越えて、私も人に好かれる人になりたい。(中学1A古川早苗)
親の大切さが分った
私も小さい頃、はしかにかかって家族に迷惑をかけた。心配してくれた人達に、お礼をしなくてはと思。大矢さんは若い頃からねらい確かに持って前進し、やり抜いた。親を敬うことが大事なんだと、強く思った。(1B本田勝則)
生きる目標ができた
私はつい親に反抗してしまいましたがよく分っているんだなあ、と思います。私は根気がなくて、

長続きしません。人間は一生懸命やるのが、すばらしいことだ、ということがよく分りました。私もこれから、一生懸命やろう、ということが一つの目標になりました。(2A小宮優子)
とてもためたになった
私は親の働いたお金を学校に行かせてもらっているのに、面倒だ全然分らない、などと言っていたことを恥し思います。
親の言うことを聞いていけば、えらくなれる、と言われたことをよく覚えています。「どうせやるなら、ちゃんとやろう」という気持ちになりました。とてもためたになった。長生きして頑張ってください。(1B本田妙子)
自分の将来をきめよう
僕は矢大さんのように頑張ったことがあるだろうか。今の三倍四倍頑張っても、追いつけないかも知れない。もう自分の将来を考えなくてはいけない時期にきている努力することが、自分の強い精神自信を作ることになり、満足できる。そして又新たな目標ができて頑張る。この線違いが、すばらしい人間を作り出すのだ。とても参考になった。(3A太刀川正弘)
たくさんのごことを学んだ
新聞配達を百二十軒して、九円にしかならないなんて、とても信じられない。目標を持ち、ねばり強くやり通す心構えがあったからこそ、苦しい時代をのり越えられたのだと思います。故郷と両親を大切に、誠を持って努力する。たくさんのごことを学んだ。(3A安達朝子)

私の体験——大矢三郎氏—— 幾多の苦難をのり越えて

10月28日 片貝中学校体育館にて
母校を励ます会第6回記念講演

暗ればれた秋日和だった。中学の校舎前のサルビアや菊の花が、今年も見事に咲いていた。

体育館では、つい先ほど、同窓会主催の校旗樹立式が終ったところである。

大矢さんの講演は三時から開始された。以下はそのあらまし。

今年73歳になりました。学歴は高等科二年卒です。こんなに大勢の前で講演をしたことは初めてで、うまくお話できるかどうか。光栄の至りです。

私は町裏の百姓家の九人兄弟の七番目として生まれました。非常

に貧しい時代でした。またランプの頃は、

一年生の時、お屏の味噌汁で、手やけどをした。又章刈鎌で、手を切つて、その縫いあところが今でも残っています。随分親に心配をかけました。

まもなく電燈が点いたが、家には一燈しかない。夜勉強しようと思つても、電燈が使えないので、ろうそくで勉強しました。兄弟の中で私だけ眼鏡をかけているのはそのせいです。

家計を助けるために、牛乳配達をしたこともあるが、小学校を卒業すると、東京の米屋へ奉公にでた。然し肋膜炎になつて、三か月で片貝へ帰つてきた。

治療に灸を据えてもらつた。これが、鍼灸を私のライフワークにするきっかけになつた。資格試験を受けるのに、金がかかる。そこで山口新聞店で新聞配達をやつた。百二十軒配るのに、七時から昼頃までかかります。だから勉強する時間がない。結局配達をやめたので、借金は増えるばかり。

新潟へ行って受験したが、見事落第。くやしきの余り、蒲団の中で泣きました。

片貝に在るのが嫌になつて、時、雑誌の広告に、灸を教えられる所が大阪にあることを知つた。そうだ、成功した人は、皆裸一貫から出発した、私も大阪へ行くことと決心しました。

来迎寺まで歩いて、信越線に乗つたとき、なぜか涙が溢れて、こらえられなかった。

大阪で、見習いとして働いたが、こはも習慣も違つたので、大層苦労した。当時休日は月に一回しかなかった。その日を利用して、地図を買ひ、警備している店を調べて歩いた。大阪城で焼芋五銭買つて昼食にしたこともあった。

風呂に入っているのを我慢して、学資にまわした。居眠りしながら灸を据えてなぐられたこともある。ある時、合格したら交野の町で開業しないか、交野は京都と大阪の中央にあり、環境の良い所だ、とすすめてくれた人があつた。これが交野に住む縁となつた。

私は早くから三つの誓いをたてていた。必ず合格しよう。開業して独立する。父母を関西見物を探つて、と。

いよいよ試験の日がきた。君が代を歌つて心を落ち着け、本家からもらった観音像にお祈りしたところが、前日勉強した問題が試験に出た。そして合格できた。その時の感激を思うと、今でも心が躍ります。

れがむしるありがたい。考えてみると、私は運のよい男です。雪国に生れてよかつたなあ、とも思う。

古いことではですが、先生と親の言うことをよく聞く子は、必ず立派になります。社会の人からもよく思われるようになるに違ひありません。孝は自行の基です。私は外国を十数か国、視察してきました。私の所へも勉強にきた外国人がたくさんおられます。どうか皆さん、世界に向つて活躍するようになつて下さい。

当日は小学生五六年、中学生全

変らぬご支援に感謝

母校を励ます会

その後の状況報告

最初五年計画だったのが、昭和62年春で完了しました。従つて昨秋から、六年目に入りました。そして、基金も上記の通り、あと

二十数万円のご支援があれば更に五年間は従来通りの活動ができることになりました。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

今回寄贈した図書は
左の通り
中学校 五三冊
地球大紀行 6巻 NHK
世界の天然記念物9巻 講談社
少年図書館(3・4期分) 37冊 筑摩書房
手をつなぐ中学生 民衆社
小学校(洋々文庫) 一一〇冊
日本の創作幼年童話 22巻
あかね書房
学年別文庫 60巻ポプラ社
社会科シリーズ 8巻 学研
子ども版西遊記 10巻
あすなる書房
科学の質問箱 10巻
誠文堂新光社
今回(62年5月以降)ご寄付いただいた方

員のほか、百人近い町民の方が見えた。片貝会から佐藤前会長も出席。演壇には、大矢さんが母校に寄付した、大きなサキノホンと大太鼓が、大矢さんをじつと見守るように飾られていた。

大正

○大正
舟山すま、大矢福次、高野朝五郎
相崎尚次、山口盛作、石黒ミズ
永井正雄、安達清次
○昭和2、3、10
山田せじ、丸山広弥、小野塚まつ
石上健次、石田定子、桑原沙紀子
高橋忠次、武藤勝子、小野塚れつ
長野チイ、三井ミヨ、城取八重子
市毛トシ、大塚文雄
○昭和11、20
小宮繁雄、川村朝子、杉本マサ子
大矢常吉、内山キミ、太刀川三郎
佐藤広次、佐藤道雄、中野みちよ
松下利夫、友田正雄、五十嵐アヤ子
○昭和21、30
安達吉秋、新野次明、小川エイ子
豊島文枝、山本文子、小川裕記子
新沢羽美、舟山亭二、小野ひろ子
藤塚文頭、吉原武夫、杉本キイ
五十嵐登美子
○昭和31、40
田口 操、諸我時夫、吉井信三
渡辺信夫
○昭和43
内藤富美子
○大阪府交野市
大矢三郎(昭和2) 以上53名
ご寄付の回数、今回から省略することに致しました。

母校を励ます会・会計報告 (自昭和58.5.1至昭和62.12.31)	
収入 1,934,511	支出 1,109,247
基金 (488名) 1,807,200	寄贈図書 1,000,000 (5回)
利息 127,311	講演会 60,000 (6回)
	印刷・郵券等 49,247
前回以後の収入・支出 (昭和62.5.1~昭和62.12.31)	
基金 (53名) 133,000	図書代 200,000 (五回目)
利息 14,823	講演金 10,000 (六回目)
(現在高 825,264)	郵 2,000

ふるさと・は・今

○楽しい話題

◇国際的になった片貝

戦前片貝小学校に在学していた五十嵐英娘さんは、親の転勤で満州に行ったが、ソ連の参戦で親と別れられなくなり、中国人と結婚された。

今度同級会の招きで、四十五年ぶりに、秋祭りに参加した。この感動的なシーンは、テレビにも放映されたので、目がしらを熱くされた人も多かったと思う。

五十嵐さんは、終戦後は看護婦として、働いていたが、医師の中国人と結婚、三男二女の子どもと七人の孫があるという。

日本への費用は、親和会(昭15卒)の皆さんが拠出した。

☆

長岡高校在学中の安達伸幸君(八島)は、先頃米國へ一年間留学していたが、七月帰国した。それとひきかえに、安達君が在学していたイリノイ州の女子高校生トレーシーさんが、安達家へホームステイ。トレーシーさんはこの間、長岡高校、片貝中学を訪問したり、八島の原爆記念式に参列して、日米の友好を深めた。家族ともすつかり仲よくなりました。

祖父母や両親は、結婚して子どもができたから、片貝に必ず来るラインと約束した。安達家の人々と別れを惜んで、八月十九日長岡駅から東京へ、帰国の途に誓った。

☆

浄照寺の副住職小林光紀さん(市蔵)は、県内に空手道場を七か所開いております。

こんど日本体育協会と日本スポーツ少年団主催の、海外研修派遣団の一員として、西独・オーストリアを訪問した。8月〜9月。一行は各都市のスポーツの組織と運営について視察し、得るところが大きかったという。

小林さんは六段の実力者。プレメンでは、同市の空手クラブに技能指導もされ、一層の親善を深めた。

◇本田善治さん、ご苦労様
花火で天下に鳴りひびいている本田さんが、この三月市蔵を退かれた。六期二十四年間、片貝のために尽力された。

その労をねぎらうため、六月七日中学校体育館で、町民三百数十名が参列した。当日は元田中首相の秘書、足野市長も出席して、大変な盛会であった。また七月二十日には、中館根首相の「芸術文化に活躍された人びとのついで」に招待された。当日

の招待者は四十人で、県下からは本田さん一人だけ。四尺玉花火の功績を認められたもの。

◇早大相撲部の合宿

早稲田大学の相撲部が、八月五日から十二日まで、浅原神社の土俵で合宿訓練をした。

母校の近況

中学校

一学級編成で、現在三三三名の生徒数であるが、今年創立四十周年を迎え、勉強に、運動、音楽に大活躍している。

この五月には、一市三郡の七校を招待して、親善球技大会を実施した。

野球・バレー・バスケット・庭球・卓球の五種目で戦ったが、このうちバスケット、庭球、卓球の三種目で優勝して氣勢をあげた。

吹奏楽で金賞

八月八日と十日に、長岡市立劇場で行われた、全日本関東吹奏楽コンクール、中越大会に出場。部員は二百六名ではあるが、日曜や夏休みを返上して練習。小規模校グループとして、三年連続

して賞に輝いた。県大会では、惜しくも銀賞にとどまり、全国大会に出場はならなかった。

バスケット優勝

片貝体協が主催して、毎年中部地区の選抜大会を開催している。十一月二十三日片貝中体育館に、十校が参加した。

各地区での強豪揃いの熱戦が続いたが、決勝戦では六日町中と対戦、接戦の末優勝した。

これは数年前から、小学生を対象として指導していたが、その成果が、今回の決果となった。

小学校

校舎改築——完成は月この春から、第一期の改築工事が始まった。総工費は約三億六千万円で、六十四年度まで引き続き継続される予定。完了すれば、面目一新となる。

わんぱく相撲、全国大会へ今年始めて、市内の小学生を対象にした相撲大会が六月二十一日東小体育館で行われた。

片貝小は団体で二位、個人では五年の伊藤友幸君が一位となった。四、五、六年で優勝した三名は、八月九日、国技館で行われた第三回全国大会に出場した。

出場チームは百十六、約三百五十名が参加したが、小千谷チームは総合成績で36位だった。

来年も参加するという。

歌と踊りとまつり

芸能まつり 6月28日
第四回を迎えて、町の人気行事

となった。

小学校の南運動場には、四百五十名の観客がぎっしり。午後六時半から開演となった。

中学の吹奏楽部がトップで、続いて民謡、三味線、マジック、楽団、民謡と十団体が出演した。

最後に琴の演奏で幕となったが町民は夏の一夜を、心ゆくまで楽しんだ。

盆踊り

8月15日16日
盆踊りは、片貝のお盆には無くてはならぬ行事のひとつ。本年は中学の女生徒百一十五名全員が、揃いの浴衣で踊り、喝采を博した。十六日には仮装大会も行われ、例年になく賑わいだした。

佐平治まつり

8月16日
昨年に続いて津南町で行われた片貝からは、吉田協議会会長を始め関係者三十名が参加して、顕彰碑の前で、盛大なお祭りがあった。

十九代目の佐藤佐平治が、天保年間この地に移り住み、津南の結束村を救済したのは、皆さんのよく知るところ。結東地区に近年温泉を掘り、観光地として売り出したいとの考えもあるという。

片貝の秋祭りには、津南の人達が招待された。

浄照寺境内でカラオケ大会

8月14日
お盆の行事の一つになった観がある。今年で三回目。当夜は境内に五百人の人々が参集した。

まず住職小林文雄師の音頭で、戦死者の霊に黙祷を捧げてから、大会が始まった。

足野市長も審査に加わり、ご自分も「三國英雄」を歌われた。出

演者は二十数名。出店が三店あり会場は夜おそくまで賑わった。

町のスポーツ活動

壮年野球に五連勝8月6日市内の四十歳以上の編成で、七月下旬から二十チームが戦ったが、片貝クラブは見事五連勝を果した。

同窓会の球技大会8月16日
お盆で帰ってきた人々と、町内の人道で、毎年開いている。バスケットとバレーボールの試合が行われて、親交を深めた。

町民大運動会 10月11日
市内でも最大規模の運動会で、千五百名が参加した。町内対抗の競技に、終日熱気が加わった。

成績、三之町、一之町、四之町などの順。

駅伝マラソン 11月1日
五十チームが参加。新設白合は例年通りチームの繰進の度に花火を掲げて盛り上げたが、男女共に中学生が上位を占めた。

あとがき

多事多端だった加歳を送り、明るく希望のもとに新年を迎えられたことを存じます。会員諸兄弟のご多幸をお祈りします。昨年の地方選で、無競争で、片貝から四名の市蔵が当選された。祝意を表し、一層のご活躍を祈ります。記事にする材料が多いのに、紙面が十分になく、割愛したものが沢山あった。至らない点はご容下さい。写真を提供いただいた方々に感謝します。どうぞよき年を